

令和7年度 長崎大学教育学部附属小学校 学校だより

「らしさ」輝く附属小



第6号 令和7年 5月16日(金) 校長 森内 秀学

多くの人に、支えられています

いよいよ運動会が目前に迫ってきました。活躍するのは、当然子どもたち。でも、その後ろに多くの支えがあることを忘れてはなりません。例えば…

1年生に3色対抗リレーの指導をしているのは、6年担任で体育主任をしている、竹下伸太郎先生(右)。



赤組の大玉転がしを見守り、タイムを計っているのは、青組と黄組の先生(左)。

入場曲の演奏のために金管バンドの指導と指揮をしてくださっているのは、本校OBの松尾英治先生(左下)。佐世保からお越しです。



そして、バス停裏に伸びる木を伐採しに来てくださったのは、なんと藤本教育学部長(右)です。



子どもたちが健やかに活躍するためには、こうした人たちの支えがあります。

本番では、子どもたちを取り巻くたくさんの人たちの苦労や思いを想像しながら参観いただければ幸いです。



ゴミ拾いで地域の美化に貢献しています

「校長先生、はい、これ。」

と言って渡してくれたのは、パンの袋や割りばしなど、ごみがいっぱい詰まったビニル袋。聞けば、このメンバーで協力して拾いながら登校したのだそうです。ありがとうねえ、と言いながら、小さな子どもにゴミを拾わせてしまう、散らかした大人のモラルの低さを嘆く思いがしました。

ゴミを拾ったことのある人は、ごみを捨てる人にはならないのだそうです。こんな子どもたちが増えたら、将来は日本の道端からゴミなんてなくなるかもしれませんね。